

生涯学習センター及び文化情報センター 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】生涯学習センター・文化情報センター

【指定管理者名】株式会社アステム

【評価対象年度】令和4年度

【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

条例・協定書等に基づき、適切な管理・運営を行っています。

令和4年度も前年に引き続き、本市の生涯学習活動拠点としての施設運営業務に加え、新型コロナウイルス感染症に対応する1年となりました。

7月に全館を活用した子ども向け大型イベントとして「アクロス de サマーフェスタ」や、10月のだいたい地域塾事業である「だいたい図鑑をつくろう!」、11月の「ハンドフェス&癒しフェア DAITO」を実施するなど、事業計画書に則り進められました。また、感染症拡大状況でライブ形式を中止とした8月の「アマチュアミュージシャンライブフェス」も後日 YouTube で配信を行うなど状況により開催方法の変更を行うことで、より多くの方が参加できるよう工夫されています。

10月より全面リニューアルしたホームページについては、毎月のアクセス数が大幅に増加しています。また、動画配信事業について、今年度は36本の動画を公開されました。それぞれの特性に合わせた効果的な宣伝を行うことで各種 SNS の登録者数も増加傾向にあり、過去からの継続した取り組みが効果をあげていると評価しています。

また、貸館事業についても、ガイドライン等を遵守し、安全面を損なうことなく運営されました。

DICでの事業においては、海上汚染・貧困・難民・フードロスなど、世界の様々な問題を内包している興味深いドキュメンタリー作品の、テーマごとの上映会を行い、より学びを深めることのできる新しい企画に取り組みました。

施設の維持管理では、日々修繕を行いつつ適正な管理を行っており、早急に必要な修繕、指定管理者で対応できる修繕の仕分けを行い、対応できています。

コロナ禍での状況の中、刻一刻と変化する状況において常に情報収集を怠らず、市民サービスの向上、安全性と利用者満足度の兼ね合いを踏まえて、柔軟な事業展開を行うことで、市民の“まなび”を止めない施設運営に取り組んでいることを高く評価しています。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでは、サークル活動の復活や新規利用者の拡大が少しずつ広がりを見せており、回答数は昨年度より増加した結果となりました。アンケートに示された満足度は、「満足」「やや満足」が77.7%、「普通」22.1%、「やや不満」0.3%で、「満足」「やや満足」の数値が5.1ポイント下がり、「普通」が5.2ポイント増加しました。今後については時代とともに変わりゆく市民ニーズを的確に把握し、運営に反映できるような取り組みを期待します。

収支状況について評価

令和4年度の収支状況も昨年度同様、コロナ禍という状況の中で非常に厳しいものとなりました。利用料について稼働率は回復の兆しが出ている中、増収に繋ぎきれませんでした。また、事業収入では9月頃までは感染者の拡大状況から事業参加費が伸びなかったことも原因として挙げられます。支出について、電気・ガス料金の高騰により光熱費が増大したことについて、高騰分全額ではありませんが、光熱費高騰に係る指定管理者委託料の見直しがあったことや、なるべく費用を抑える工夫をするなど、全体的な経費削減にも取り組んだ結果、最終的には黒字で終えることができました。次年度以降もコロナ禍に対応しながら、引き続き市と互いに緊密な連携を取り、厳しい状況ではありますが、持続性をもった施設運営が行えることを期待します。

総合評価

生涯学習センター及び文化情報センターの運営にあつては、コロナ禍であっても、市民の生涯学習活動、文化活動の普及振興を図ることを目的として設置された施設であるという基本理念のもと、きめ細やかな運営がなされていることが伺えました。その背景には、“まなび”を止めないという理念をスタッフ一人ひとりが意識され、実現に向けた強い想いを感じる事ができました。令和5年度も、引き続き情報収集を行いながら、新しい生活様式に則った柔軟な発想により事業展開を行うことで、市民の生涯学習活動のサポートを期待しています。